

事業番号	事務事業名	林業振興促進対策事業	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
03760	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	平田 誠
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等	鏡野町林業振興促進対策補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	森林整備(新植、下刈、枝打、除伐、間伐)をするために自然災害等により被災し、車両の通行ができない作業道の修繕に対しての費用を補助する。	近年、豪雨等の影響により既設作業道が被災し、車両が通行できないことから、森林整備のために、受益者単独では経費が多かるため、修繕が出来ない状況であった。そのため、作業道修繕の補助要望が多いこと、森林整備を進めることを目的として、令和2年度に補助制度を創設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 森林作業道	ア 修繕延長	m	見込 実績		4,000 4,090	4,000 0	4,000	4,000
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 森林整備のため修繕	ア 修繕延長	m	目標 実績 達成率		4,000 4,090 102.3%	4,000 0 0.0%	4,000	4,000 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 作業道修繕に対する補助	ア 修繕作業道路線数	路線	目標 実績 達成率		2 6 300.0%	2 0 0.0%	2	2 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		03	01	林業振興促進対策事業					03760
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源		1,054	1,000	1,000	1,000	-54	一般財源		1,054		1,000	1,000	-1,054			
合計		1,054	1,000	1,000	1,000	-54	合計(A)		1,054		1,000	1,000	-1,054			
財源名称	従事正職員人数								1	1						
	延べ業務事務時間								20	20						
	人件費計(千円)(B)								67	67			0			
	最終予算額 1,000 千円 予算執行率 0.0%								トータルコスト(A+B)		1,121	67	1,000	1,000	-1,054	
主な 支出事業内容 (予算)	補助金 1,000 千円						主な 支出事業内容 (決算)	補助金 0 千円								

事業番号	03760	事務事業名	林業振興促進対策事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
近年、豪雨等の影響により、既設作業道が被災し、車両の通行が出来ないことから、森林整備の推進に影響がある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和2年度より開始。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
森林所有者、森林組合など受益者から作業修繕費用の支援に対して強い要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 森林整備の推進には、被災した既設作業道の修繕も必要であり、町の政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 既設作業道の修繕は、受益者だけでは負担が大きいことから、森林整備を推進するためにも町が支援する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 放置森林の防止、森林所有者等の経営意欲向上、森林整備の推進のためであり、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 作業道修繕を進めることにより、森林整備を推進させ、森林所有者等の経営意欲を向上させる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 作業道修繕が出来なくなり、森林整備が進まず、森林所有者等の意欲が低下する。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 森林整備の推進のための作業道修繕の補助であり、改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 作業道修繕費用の上限を設定した補助であり、補助単価等を下げると作業道修繕が出来なくなり、森林整備の推進に大きな影響がある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 交付事務のみであり、人件費の削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 作業道修繕の補助対象は、森林所有者等の受益者を対象としており、上限を設定した補助であり、受益者負担は公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	これまで豪雨等で被災した既設作業道の修繕費用がかかるため、修繕できず森林整備が出来なかったところが、今回、作業道修繕の補助を行うことにより、作業道が修繕され、森林整備が行われることになった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 事業効果を事業後も継続的に検証しながら、事業を行う必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								